

令和6年度(2024年度) 品質方針

DXの進展、自然災害の激甚化・頻発化、新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえた持続可能な経済社会の進展、世界的な物価高騰、急速に進行する少子化を踏まえた業務遂行を念頭に、令和6年度(2024年度)「事業計画」に従い、①公共調達に関わる情報提供、②建設プロセスに関わる情報の利活用促進、③建設情報に関わる研究開発を行うことにより、i-Constructionやインフラ分野のDX推進を支援し、公共工事の品質確保、建設業の健全な発達、資源の有効利用、建設生産性の向上及び安全・安心な社会の構築に寄与する。

そのため、当センターの有する知識と最新技術の活用並びに十分な情報セキュリティ対策を実施することにより、提供するデータ及びサービスの高い品質とそれらの安全・安心の確保に努める。

また、建設事業に係る各分野の動向や建設情報に関連する技術の進歩等、建設分野を取り巻く環境等の変化に対して、柔軟かつ迅速に対応し、広報・広聴活動を行い、建設技術の向上、建設事業の効率化等に資する。

これらを実現するため、以下の活動を実施する。

1. 「情報セキュリティ基本方針」に基づき、セキュリティインシデントの発生を抑止し、情報セキュリティを確保する。
2. 法令を遵守するとともに、常に利用者のニーズを把握し、質の高いサービスを提供することにより、顧客満足度の向上を図る。
3. 災害発生時等の非常時においても事業を継続できる能力を構築・維持する。
4. 職員の建設・情報両分野の技術力の向上のための環境の維持などにより、業務遂行能力と働きがいの持続的な向上を目指す。
5. ISO9001品質マネジメントシステムの要求事項に適合し、部署ごとに品質目標を定め、PDCAサイクルを回すことにより、業務の継続的な改善を図る。その際、事業計画、品質確保、広報・広聴活動を一体的にマネジメントする。

令和6年(2024年)4月1日

一般財団法人 日本建設情報総合センター
理事長 山田 邦博